

特集

- 01 済生会病院スタッフから皆様へ  
2014がんばる宣言!

先生の届けたい声「Doctor's Voice」

- 03 小児科／新生児科

「おしえて!済生会の先生」

- 05 耳マークってなあに?

地域連携による安心の医療

- 06 医療連携医のご紹介

インフォメーション

- 07 小児科外来リニューアル・  
栄養相談室の移転  
南側駐車場閉鎖のご案内

ながく住みやすく、ずっとこの街に。  
済生会病院にできること。

静岡済生会総合病院コミュニケーションペーパー

# Home

Jan.Feb  
2014  
Vol.10 1-2  
ホーム





HAPPY 2014 NEW YEAR!

ヨガにチャレンジ!  
目標はマタニティヨガの  
インスタラクター!?

様々な看護技術を  
学んでいきたい!

いつも笑顔で  
患者さんの心に残る  
思いやりのある看護の提供!

患者さんが、  
より相談しやすいように!

何事にも笑顔で取り組み  
明るく一年にしたい!

患者さん本位の医療を  
大切にしてまいります。

今年もよろしく  
お願いします!

# 済生会病院スタッフから皆様へ 2014がんばる宣言!

病院でおなじみの医師・看護師と、年男年女のスタッフが揃ってご挨拶。  
力を合わせて良い2014年にします。皆様にとっても良い年でありますように。





## 2014年も 地域の皆様と 一緒に成長します

2013年は当院にとって一つの節目の年でした。新館の改築計画がいよいよ着工となり、既に一部施設の位置が変更となっております。今後2017年にかけて建て替えと改修を行い、災害への備えを強化すると共に、先端医療の機能も高めていく予定です。まもなく着工の新南館B棟には救命救急センターを移設する予定です。今月からは救命専門医も赴任しました。また、南館A棟に移動した小児科外来も新部長を迎え、新たな一歩を踏み出しました。これまで以上に地域の皆様のお力になれるよう、計画を進めてまいります。

さらに、2015年から地域の医師・看護師さんも利用できる院内保育所を準備中です。

2025年には日本の3割が65歳以上のお年寄りになるといわれる中、そうした環境に合わせた医療が提供できるよう当院も変わり続けなければなりません。4月からは組織の若返りを図り、より柔軟に医療環境の変化に対応できる組織づくりを進めていきたいと思います。

当院の特徴は「社会福祉法人」であることです。困っている地域の方々への医療や生活をサポートするために生まれ、地域の皆様と共に成長していく病院をめざしています。患者さんが希望する治療を共に考え実行する、患者さん本位の医療を、今年も引き続き大切にしてまいります。

静岡済生会総合病院  
病院長

石塚隆夫

takao ishizuka

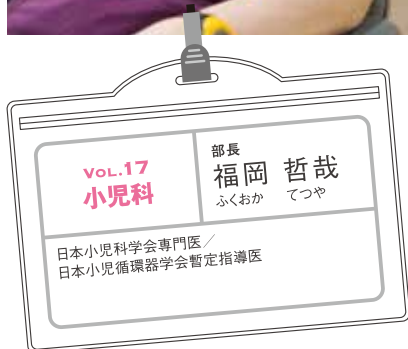
日本産婦人科学会専門医  
日本婦人科腫瘍学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



◀左上から時計回りに、高野加代子(助産師)、川口良介(看護師)、宇佐見敬子(看護師)、鈴木省吾(事務)、森脇辰哉(薬剤師)、菊地直樹(診療放射線技師)、今本夏来(作業療法士)、杉山義晴(研修医)、石塚隆夫(院長)、柴山奈穂子(研修医)、高橋里奈(事務)

# DOCTOR'S

予防医学の発達や少子化などの影響で総合病院の小児科が減っている昨今、  
当院の小児科では経験豊富なスタッフが、入院患者さんを受け入れています。



## 子どもの病気は全身を対象として 小児科が担当します。

当院に限らず総合病院の小児科は、大人の科と違って、肺・心臓から目や耳までさまざまな子どもの患者さんの病気を担当するのが特徴です。点滴治療や薬の使い方などが、子どもの場合はより厳密。体重や発達に応じて薬の量を管理するなど、子どもの看護経験の豊富な看護師が管理した方が事故防止になるんです。非常に専門的な治療はそれぞれの専門医が行い、小児科は患者さんの病状を適切に判断して専門医につなげ、専門医の治療をサポートしています。

## 当院小児科は静岡市内最大級。 二次救急医療施設としても活動。

当院小児科は、地域の開業医さんから紹介された、入院や精密検査を必要とする患者さんを受け入れる「二次(救急)医療施設」として活動しています。救急車でやってくる患者さんの診察や治療にもあたり、特に重篤な患者さんの場合は「三次(救急)医療」を行う県立こども病院へとつなげています。

こども病院と違って当院は産婦人科と連携し、

院内で生まれたばかりの新生児の集中治療を行えるのも特徴。どちらの病院もそれぞれ得意な領域を活かし、分担・協力して患者さんの治療を行っています。

現在、当院の小児科は医師7名、研修医1名で、外来・入院患者さんの治療にあたっています。数少ない「地域周産期母子医療センター」にも指定されていて、新生児患者さんの受け入れは市内最多。この10月からは、閉科となった清水区内の総合病院の小児科医局スタッフが一部当院に加わっています。私もその一人です。その関係で、清水区の患者さんも増えてきているようです。

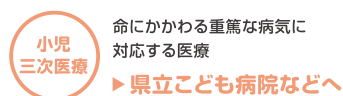
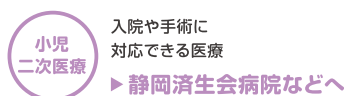
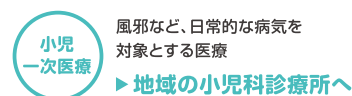
小児科外来病棟も移設され、スタッフも新しい体制になった今は、医師一人ひとりの負担を軽減できる小児科診療の集約化に力を入れていきたいと思っています。病院小児科が減っている中、地域での当院小児科の役割はより重要になっていくはず。今後は医師を徐々に増員し、こども病院の若手研修医なども協力して、こども病院や地域の診療所との連携体制で地域をカバーしていきたいと思っています。

実は当院、川崎病の入院患者さんが結構多いんです。個人的には川崎病の研究会のメンバーとして、川崎病患者さんの治療や小児循環器疾患の診療に力を入れていきたいですね。

小児科

## 「一次医療」「二次医療」ってご存じですか？

医療機関は重症度によって「一次」「二次」「三次」3段階に分けられます。普段は地域のかかりつけ医に相談するのが基本ですが、救急車で二次医療・三次医療を受けた方がいい場合も。



「うちの子、元気がないみたい」と、誰よりも早く気づいてあげられるのはご両親。「どの病院に行けばいいか判断できる目を養って」と福岡医師はエールを贈ります。日頃からお子さんの体調の変化に気づけるよう目を配り、子どもの病気について情報を仕入れておきましょう。

最後に...

「趣味は登山」という福岡医師。登山歴は12年、休みになると家族や医師の山仲間と一緒に楽しんでいます。「今は忙しくて行けていない」とか。清水区でいちばん多くの患者さんを抱えていた小児科から、当院に赴任して3カ月。百戦錬磨のベテラン部長として今後の活躍が期待されています。



# VOICE

ドクターズボイス



私たちが皆さまに  
届けたい声がある!

小児科の中でも特に生まれたばかりの赤ちゃんの診療を行う新生児科。  
当院では市内屈指のNICU(新生児集中治療室)が活躍しています。

## 静岡市内の新生児疾患の 3~4割を治療しています。

お母さんのお腹から赤ちゃんが無事に産まれてくるのは当たり前のように感じる人も多いと思いますが、生まれてくる瞬間は人間の一生の中で最も命の危険が高い時です。昔は難産で母子ともに亡くなることも少なくありませんでした。医療の進歩でリスクはずいぶん減りましたが、今も新生児10人に1人は医療の助けを要し、100人に1人は積極的な蘇生や人工呼吸が必要というのが現状です。

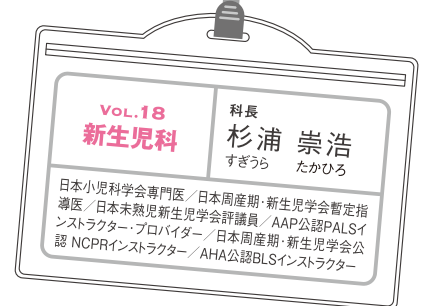
私が担当するNICU(新生児集中治療室)は、生後5日目頃までに問題が生じた新生児の診療・入院を受け入れています。当院はおそらく、市内の3~4割の新生児医療を分担しています。出生時のトラブルや生まれつきの病気、また、予定より早く生まれた早産児の治療にあたっています。早産児のお子さんに関しては、体が十分発達するまで数十日間入院して養育し、退院してからも何か健康上の困ったことが生じたら、かかりつけ医としてご相談いただいています。

新生児の患者さんが退院する時は「退院おめでとう」と言いますね。でも私は、その子どもさんがその後無事に成長して、幸せな家庭を築くまでを

見届けて初めて「おめでとう」と言えるんだと思います。新生児という発達に関するトラブルばかり思い浮かぶかもしれませんが、退院後にも、例えばぜんそくや肺炎、おねしょなどの悩みが生じた時、その都度あちこちのお医者さんを渡り歩かなくて済むようにトータルで診てあげたい。ひとりひとりの患者さんを最後まで見守る「トータルケア」をめざしていきたいんです。

## 子どもが大好きで、実は、 「歌のお兄さん」になりたかった(笑)

私は最初から医師をめざしていたわけではなく、子どもが大好きで、実は「歌のお兄さん」になりたかった(笑)。それが無理でも子どもに関する仕事がしたくて、小児科医の道を選びました。子どもは地域の宝、未来の宝です。高齢者福祉も大切ですが、子どもこそ福祉は必要だと思いますね。小さく生まれてきた子どもたちが無事に小学校に上がってランドセルを背負うようになって、元気に育っていくのを見守っていけるって、本当に幸せなことだと思います。



新生児科

## 予防接種を受けましょう。

乳幼児の予防接種には、必ず受けなくてはならないものと、任意のものがあります。もし病気になってしまったら、お子さんの周りのお子さんに迷惑がかかる場合もあります。任意の予防接種もできる限り受けましょう。

### 6歳までに受けたい予防接種

**定期接種 (必須)** ▶ ヒブ、肺炎球菌、四種混合、BCG、ポリオ、MR、日本脳炎

**任意接種 (希望者)** ▶ ロタ、水痘、おたふく、B型肝炎

※ヒブ、肺炎球菌、四種混合、ロタ、B型肝炎は同時接種が可能です。  
※ポリオは単独接種のみです。  
※水痘・おたふくは同時接種が可能です。

最後に...

二児の父親という杉浦医師。「子どもの成長を見守れるのが幸せ」と話す口調が本当に幸せそうだったので印象的でした。趣味はなんと養蜂。どこまでも育てることが好きなようです。蜂が育つ野山が近くにあるから「静岡に来られてよかった」と話す、名古屋出身ボストン経由静岡着のドクターなのでした。



# おしえて！

## 済生会の先生



Vol.03

メモ  
メモ

## 「耳マーク」の掲示を始めました。

「耳マーク」の名札を貸出しております。

ご希望の方は総合案内スタッフまでお申し付けください。

貸出し場所 → 総合案内(正面入口)

答えてくれる人  
聴覚障がい  
診療サポート  
担当



## Q 耳マークってなあに？

A 耳マークは、「聞こえが悪い」ことが一目でわかるように考案されたものです。

当院では「耳マーク」を掲示し、聴覚障害の方が来院されたときには、

「はっきり口元を見せて話す」、「手話や筆談をする」などの対応をいたします。

## 「聴覚障がい診療サポート」を行っています！

当院では、「聴覚障がい診療サポート」を行っています。耳の間こえない方が、診察時・入院時などに手話や筆談でのサポートを必要とされる場合、サポート職員が同席し、対応させていただきます。(ご来院の際は、総合案内受付まで申しつけてください) また、診察の予約や日時変更をメールやFAXにて対応しています。詳細は、当院ホームページをご確認ください。

静岡済生会総合病院 検索 → 「当院ホームページ」 → 「お知らせ」 → 「聴覚障がい診療サポートのお知らせ」

※インターネットで当院ホームページ「お知らせ」項目の、「聴覚障がい診療サポートのお知らせ」でご確認ください。

耳マークに関するお問い合わせはコチラ

静岡済生会総合病院 地域連携室 FAX.054-280-5050 [受付時間] 平日8:30~17:00

# 医療連携医のご紹介

地域の中核を担う総合病院として、地元の医院との連携プレーも欠かせません。今回ご紹介するのは内科・循環器科と、内科・消化器内科・内視鏡内科の医院です。

静岡市葵区

あ だ ち な い か    じ ゅ ん か ん き か

## 安達内科・循環器科

☎054-250-2601

〒420-0871 静岡市葵区昭府2丁目22-8

診療科目 内科、循環器科、アレルギー科、リウマチ科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後の部 15:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—

休診日:水曜午後、第2第4土曜、日曜、祝祭日

共に内科医の夫妻が二人三脚で診療する安達内科・循環器科。「二人いる分、一人ひとりの患者さんを丁寧に診ることを心掛けています」と院長。診察室では患者さんと机を挟んでまっすぐ向かい合う。「こうすると患者さんの目を見てゆっくり話せるんです。「ねえねえ」なんて机に身を乗り出して世間話をしていく患者さんもいますよ」。高齢の患者さんに配慮して、今も院内薬局で薬を出しているのも独自のこだわりだ。



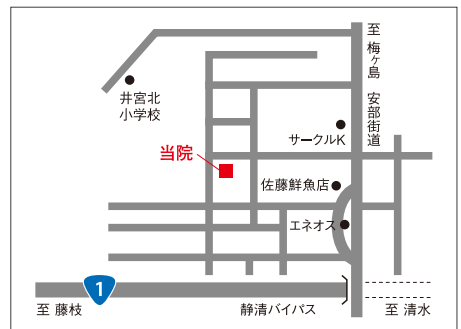
院長 安達光宣

### 安達内科・循環器科

外観



案内図



- 静鉄バス「昭府2丁目」下車徒歩3分
- 無料駐車場あり

静岡市葵区

よ し か わ い い ん

## 吉川医院

☎054-247-0123

〒420-0804 静岡県静岡市葵区竜南1-14-31

診療科目 内科、消化器内科、内視鏡内科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後の部 14:00~17:00	○	○	○	—	○	—	—

休診日:木曜午後、日曜、祝祭日 ※月曜午後は13:30~

昭和50年開業の吉川医院は、どんな患者さんにもできるだけ自力で対応する方針のもと、当初は入院施設も備えていた。「当時と比べて近年は総合病院が積極的に患者さんの紹介を受け入れてくださる体制になった」と院長。「総合病院専門医の診療内容も共有できるので、患者さんの信頼も増し、私達も勉強になります」。ご子息の俊之副院長が現場の第一線を担うようになった今も、向上心を忘れていない。



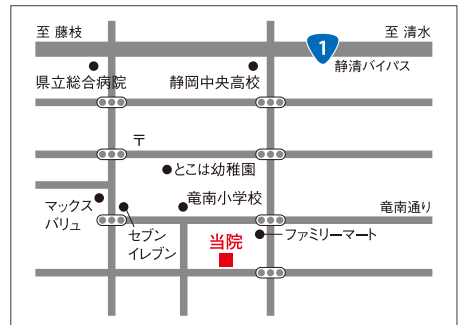
院長 吉川正宏 副院長 吉川俊之

### 吉川医院

外観



案内図



- 静鉄バス「竜南1丁目」下車徒歩5分
- 無料駐車場あり

## 11月18日 小児科外来リニューアル・栄養相談室の移転



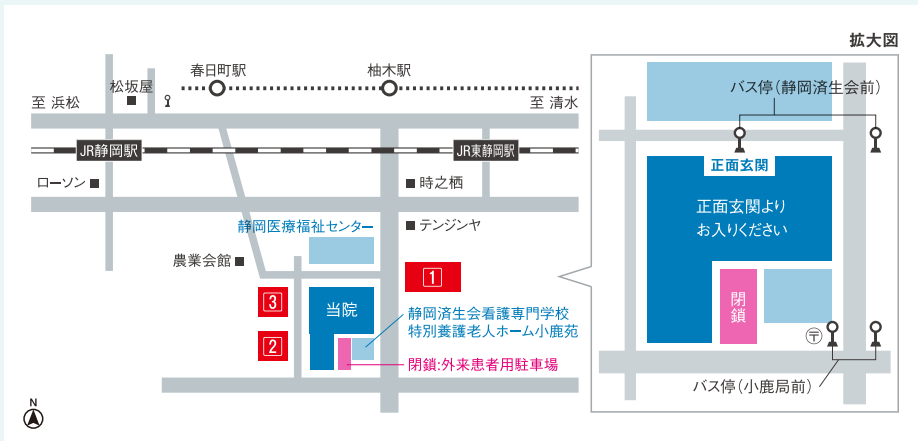
新館建設工事にともない、昨年11月18日より小児科外来と栄養相談室の場所が移転・リニューアルしております。お越しの際はご注意ください。

さい。南館B棟2階より南館A棟1階（元医療相談室・訪問看護ステーションおしか）に移転となり、より明るいフロアとなっております。院内に案内を貼らせて頂いておりますが、もし迷われた際にはお近くの職員にお声をかけて頂ければと思います。

内を貼らせて頂いておりますが、もし迷われた際にはお近くの職員にお声をかけて頂ければと思います。

■ 栄養相談室  
■ 小児科外来

## 南側駐車場閉鎖のご案内



新館建築工事にともない、昨年11月30日より当院南側にあります病院駐車場が全面閉鎖となっております。当院にお越しいただく皆様には大変

ご不便をおかけしております。当院にお越しの際は、周りに駐車場がいくつかございますのでそちらをご利用頂くか、もしくは公共交通機関等

をご利用頂ければと思います。工事期間中はご不便をおかけして大変申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 車で越すの場合 by CAR

近隣の駐車場をご利用ください。

- ① あけぼの第一駐車場
- ② あけぼの第二駐車場
- ③ 寺田フルーツ駐車場 ほか

### バスで越すの場合 by BUS

- ① JR静岡駅北口（8番）  
・小鹿線「済生会病院正面」下車  
・美和大谷線「済生会病院前」下車
- ② JR静岡駅南口（21番）  
・みなみ線（曲金経由）  
「済生会病院正面」下車

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会  
静岡済生会総合病院

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号  
TEL.054-285-6171 FAX.054-285-5179  
http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp

### 済生会とは？

明治44年、明治天皇より済生勅語とともに下賜されたお手元金150万円を基金として、当時の総理大臣桂太郎が「恩賜財団済生会」を創立。以来、済生会では創立の精神を引き継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んでいます。